

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3年 2月 25日

事業所名 Roselle Association CLUB III

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			三密にならないよう配慮し、園庭(駐車場)や二階のプレイルームを活用している。	
	2	職員の配置数は適切である	7			適切な配置をしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			スロープなどを利用してバリアフリーが出来るよう留意している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			職員面談や業務会議などを行い、改善している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			毎年アンケートを実施している。また、行事ごとにもアンケートを取り、改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			月2回以上行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			実施している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		えいぶるを活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			毎月、支援会議(中間評価)を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			月の行事や毎日のプログラム等がその都度児童の様子や興味関心に沿った内容になるように、会議を行い、決定している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			毎朝ブリーフィングを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	1	不在スタッフもいるため、書面と毎朝のブリーフィングにて申し送りしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			記録は、二種類行っており、活動日誌と児童の様子についての日誌を記載している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			6か月以内に一回モニタリングを行い見直しをしている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7					

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			管理者・児発管(補佐)が会議に参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7				コロナ禍の為、会議なども少ないため、今度電話などで連携を深めたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1	1		医療ケアのお子様がおらず。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3		児発管を中心に行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	2	研修等に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1	3	公園などで交流を行っている。	コロナ禍の為、児童館などは交流できておらず。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2	4		コロナ禍の為、参加できておらず。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時や連絡帳を活用し共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	2	必要に応じて個別支援計画書に記載している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			必要に応じて行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	2	年に一回行っている。	今年度は、コロナ禍の為開催未定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			近年苦情なし	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			事業所だよりなどを発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	3		コロナ禍の為開催できず。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			必要に応じて行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			年に二回以上行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			法人で研修などを行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1		身体拘束に至る前に、支援にて改善している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	1	保護者より情報を頂き、それに基づいて対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			その都度共有している。	